



- 大河津分水100周年・関屋分水50周年コラボ事業として、信濃川河川事務所と信濃川下流河川事務所共同で出前講座を実施。
- 大島小学校4年生 8名に対し、パウポによる授業を行った。

■活動概要

・コラボ出前講座

・日時:令和3年7月12日(月) 10:35~11:20

・場所:三条市立大島小学校

・内容:信濃川の ①自然環境 ②恵み ③災い

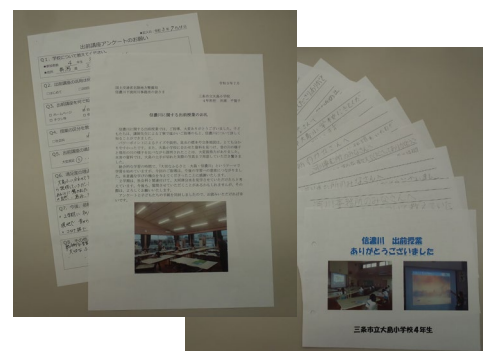
地元、大島付近の川の流れの変化を紹介して身近に感じてもらう。

川の水量をコントロールしている大河津分水、関屋分水などの構造物の紹介

・講師:エコロジーサイエンス樋口氏

三条市立大島小学校 大河津分水学習		信濃川と大島	
日時:令和3年7月12日(月)10:35~11:20 会場:三条市立大島小学校 4年生		②③ ◎信濃川の災いと恵みの学びを通して大島への愛着を深める。	
時刻	概要	活動内容と学び	備考
10:35~10:45 (10分)	導入	信濃川に関するクイズを出題。クイズは長さ、年間水量、魚の種類、鳥の種類を予想し、その数を当ててもらふ。	
10:45~10:55 (10分)	信濃川の自然環境	たくさんのお魚や野鳥がいることを紹介。大島付近でも見られる代表的な魚や鳥を紹介する。	
10:55~11:05 (10分)	信濃川の恵み	豊富な水量を使ってまぐさが行っていること、黒田を育てていること紹介する。高市や新海市の取水施設を紹介し水運水として利用されている100万人が信濃川の恵みを使っていることを紹介。 大河津分水、関屋分水、大島調整工、関屋分水などの構造物を紹介し、農業に使う水や暮らしに使う水を切り分けられていることを説明。	
11:05~11:15 (10分)	信濃川の災い	水量が多くなって流れが速くなることを紹介。 信濃川は隼川(川)での流れの何層も変わったことを紹介。 特に大島付近は川の流況の変化が顕著になってきていることを紹介。 昔の水害の時は代官あや欠島の土手が切れたことを紹介し先人達の苦労も説明する。	
11:15~11:20 (5分)	まとめ	質問を答えたりする。	

授業の全景



地元、大島の昔の地図や写真を示しながらの授業内容が好評だった。

←大島小学校からアンケートの回答
生徒さんからのお手紙



信濃川と 大島		名前
1. 信濃川に関する数字を書いてみよう。		
長さ		
1年間に流れる水量		
魚の種類		
鳥の種類		
草の種類		
2. 信濃川にすむ魚や鳥の名前を書いてみよう。		
3. 水質が多いことで、こぼることはあったのかな？書いてみよう。		

